

中京大学利益相反マネジメントポリシー

2016年 5月18日制定

1 目的

社会との連携・共存を図りながら社会貢献を果たしていくことは、教育・研究とならぶ大学の使命です。しかし、社会貢献活動に際して、大学と企業等との目的や役割の相違から、大学に所属する教職員について、避けられない利益相反が生じることがあります。

「中京大学利益相反マネジメントポリシー」は、中京大学に所属する教職員が利益相反の問題に適切に対処して、業務を公正かつ効率的に実行できる環境を整備することにより、産官学等の連携を含む社会貢献を積極的に推進し、社会からの信頼を保持することを目的としています。

2 基本的な考え方

教職員が本学における職務よりも個人の利益や責務を優先させて活動したと客観的に思われる場合に、利益相反が問題となります。中京大学は狭義の利益相反と責務相反を合わせた広義の利益相反を対象とし、教育・研究機関としての公正性にもとづいて利益相反マネジメントを行います。

また、中京大学に所属する教職員は、社会貢献活動について必要な情報を開示し、高い透明性を確保するとともに、利益相反に関する説明責任を果たします。

3 マネジメント体制

利益相反マネジメントを実施するために、以下の体制を整備します。

- ① 研究活動における利益相反に関する規程を定め、ルールを明確にします。
- ② 利益相反マネジメントに関する委員会を設置します。
- ③ 利益相反に関するアドバイザーを置きます。